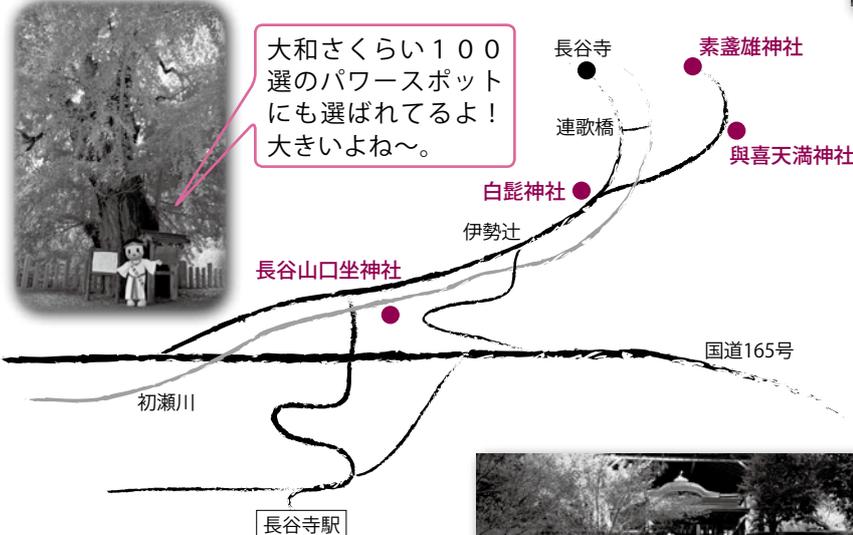


# ひみこちゃん

## 記紀万葉の地を訪れる - その9 -

今回は、市民目線で「桜井のとっておき」を選んだ「大和さくらい100選」に「**隠国の神々**」として選ばれている桜井市初瀬の4つの神社に行ってきたよ～。

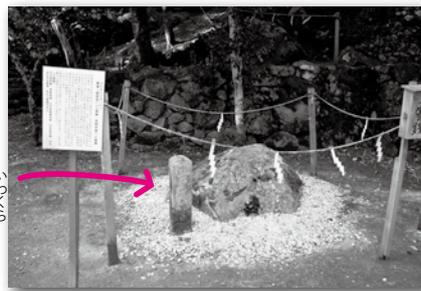
まずは素盞雄神社へ。長谷寺から與喜天満神社の境内に至る途中、初瀬川にかかる朱塗りの連歌橋を越えて、山道を登るところにあるよ。この神社のご祭神は素盞雄命。與喜天満神社に菅原道真公をおまつりしたとき、与喜山は天照大神が降臨された神聖な山なので、その弟神である素盞雄命をおまつりすべきだということで社殿を構えたのがはじまりとされているよ。ここにある銀杏の巨樹は高さが40mもあって、奈良県の天然記念物に指定されている県内最大の銀杏の木なんだって。



続いて與喜天満神社。この神社は国の天然記念物に指定されている与喜山の中腹にあって、この山は古代、大泊瀬山と呼ばれ、大和の国では「最初に太陽が登る神聖な山」としてあがめられてきたよ。万葉集で、「隠国」とは「初瀬」にかかる枕詞で、「山に囲まれて立っているような地」を意味してるんだって。主祭神は学問の神様として知られる菅原道真公で、日本最古の天神信仰の神社と言われているよ。

毎年10月の第3日曜日は「初瀬まつり」が行われ、近世の奈良においては、春日大社のおん祭りに次ぐ盛大な祭典として知られているよ。お祭りの日は三代將軍徳川家光が奉納したとされる古神輿が門前町を御渡りして、太鼓台も出てまちはとってもにぎわうんだって～。境内にはガチョウのような形をした鵝形石と言われる磐座があって、天照大神が祀られているよ。

それから白髭神社へ行ったよ。地元では、「礼荷さん」と呼ばれてとっても親しまれているよ。階段を登ると景色がすごくきれいで、本殿から長谷寺が正面に見えるよ～。



最後は長谷山口坐神社。大山祇神（山の神）をご祭神とし、のちに手力雄神（力の神）もお祭りしていて、地元の人からは「てじからさん」と言って親しまれているよ。毎年12月9日に「霜月祭」が行われているよ。



twitter @himiko\_\_chan

「ひみこちゃんのページ」

<http://www.city.sakurai.lg.jp/himiko/index.html>

観光まちづくり課 (☎ 42 - 9111 内線 348)

E-mail : kanko@city.sakurai.lg.jp 【観光まちづくり課】